

「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」災害時組織対応セミナーを開催しました（2019/7/13）

テーマ：組織対応マネジメント、災害対策マニュアル、BCP
場所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市）

2019年7月13日(土)、宮城県仙台市の東北大学災害科学国際研究所において「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」災害時組織対応セミナーが実施され、県内の医療従事者（医師、歯科医師、看護師、薬剤師、放射線技師）12名が受講しました。

「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」では年間を通じ、災害医療に関するさまざまな講演、実習を実施しています。佐々木宏之助教（災害医学研究部門 災害医療国際協力学分野）はプログラム運営企画委員会委員・実習コーディネーターを務めており、当日は会場責任者として運営に携わり、また研修講師を務めました。

今回の災害時組織対応セミナーでは、災害時の組織対応マネジメントを目的に災害対策マニュアルの改訂や実動訓練の模擬立案など、より実践的な研修をグループワーク形式で行いました。また東日本大震災時の病院初動対応、復旧までの過程について、各病院の知見を持ち寄り、災害拠点病院で策定が義務づけられているBCP（事業継続計画）についての講義が行われました。

次回は、8月1日(木)に災害メンタルケア実習が予定されています。今後も災害科学国際研究所では災害時の保健医療福祉に実践的に関わる人材育成の中心となるべく、研修会を催していきます。

災害 GP 災害時組織対応セミナー：8時間		
<p>授業の目的と趣意 災害時における組織としての災害対応について学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災における病院の初動体制、復旧までの経過を学ぶ 災害対策マニュアル改定と実動訓練の企画・運営について理解できる 東日本大震災における宮城県庁や医療圏における保健医療体制の実態と今後の課題について理解する 平時から災害時への 病院対応のシームレスな移行のための BCP 運用 <p>学習の到達目標 災害時に院内・院外における病院としての組織活動のマネジメントができる</p> <p>開催日時 ・2019年7月13日(土) 災害研 in 仙台</p>		
★プログラム★		
時間	講義時間	講義内容
8:00~8:30	30	受付
8:30~8:40	10	オリエンテーション
8:40~10:00	80	講義 1 東日本大震災の病院対応とその後の改革①
10:00~10:10	10	休憩
10:10~10:50	40	講義 1 東日本大震災の病院対応とその後の改革②
10:50~11:00	10	休憩
11:00~12:00	60	講義 2 災害対策マニュアル改定と実動訓練の企画・運営① 自病院のマニュアルより、訓練テーマの検討
12:00~13:00	60	昼休憩
13:00~14:20	80	講義 2 災害対策マニュアル改定と実動訓練の企画・運営② 具体的な訓練計画立案 13:00~13:20 テーマ発表 13:20~14:20 プラン検討
14:20~14:30	10	休憩
14:30~15:40	70	講義 2 災害対策マニュアル改定と実動訓練の企画・運営③ 訓練実施とその後のPDCA サイクル 14:30~14:50 プラン発表 14:50~15:30 PDCA サイクルについて討議 15:30~15:40 まとめ
15:40~15:50	10	休憩
15:50~16:50	60	講義 5 東日本大震災の宮城県庁における医療対応 と今後の対応、課題
16:50~17:00	10	休憩
17:00~18:00	60	講義 6 平時から災害時への 病院対応のシームレスな移行のための BCP 運用

セミナープログラム



講義を受ける宮城県内の医療従事者



グループ討論の結果を発表する
プログラム受講者

文責：佐々木宏之（災害医学研究部門）